

## 実践事例①⑥ 東京都立第三商業高等学校

### 1 取組・活動名

「地域活性化を目指した地域連携と振興活動によるボランティア・マインドの醸成」

### 2 取組・活動のねらい

- 将来性豊かな「豊洲」地区の産業界と連携することで、連携先を広げる。
- 販売促進のアイデアを検討実施することで、地域活性化に貢献する。
- 接客を通じて、ホスピタリティーの醸成・ボランティア・マインドの醸成を図る。
- 実体験を通じて、これまでに学んだ「商業」の知識を活用し、生きた知識とする。

### 3 教育課程上の位置付け

「課題研究・16時間」（講座履修者のなかから希望者を募り、特別活動として実施）

### 4 実施上の工夫

- ・ 従来女性向けのイベントだったものを、工夫することで男性客や高齢者、家族連れの顧客に対しても興味を引くための企画・検討を行った。
- ・ 店舗の担当者との打合せを行い、店舗側の要望やねらいを十分に生かせるようにした。
- ・ 接客を通して顧客が何を望んでいるか、満足いただけるにはどうすればよいかを研究した。
- ・ ボランティアとして求められることが何かを得るよう努めた。

### 5 本取組・活動の内容

「花束を贈る習慣づくりに貢献」 — チューリップの球根詰め放題とチューリップの切り花の販売促進イベント —

- ・ 従来は球根の詰め放題だけのイベントで女性客がターゲットだったが、男性客にも興味をもってもらおうと、球根のパッケージの工夫、チューリップの切り花をラッピングしたものを積極的に販売した。
- ・ 更に培養土や鉢なども含めた販売促進活動を行った。



## 「新年を迎え、日頃からの感謝の気持ちを胸に地域活性化活動に参加」

－ 「新年 宝船による福分け」 行事に地域活性化応援隊として －

- ・ 「新年 宝船による福分け」行事に日頃からの感謝の気持ちを込め、応援隊として生徒が参加した。
- ・ 新年”福分け”の趣旨を踏まえた上で、「宝船」についても情報の収集にも努めた。配布チラシや案内ポスター等も作成し、当日の活動に役立てた。



- ・ 初めて目にした宝船満載のお花には驚きを隠せないだけでなく、新年お祝いの気持ちを新たにして有難さを噛みしめた。



## 6 成果

- ・ 生徒も最初は遠慮がちであったが、徐々にしっかりと活動を行うことができた。
- ・ 多様な活動を通して、多くの方々と接するなかで社会の仕組みを理解するとともに、社交性を育み、更には「おもてなしの心」「ホスピタリティ・マインド」が生まれた。
- ・ 生徒の地域貢献と社会参加により、ボランティア・マインドが育成できた。
- ・ 自ら考えて行動する主体的態度が見についた。
- ・ 今後は教育課程に位置付け、講座履修者全員で取り組んでいくことが必要である。